



年始の挨拶

冬とはいえ、暖かい日が続いておられますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

元旦は快晴の中、3・4階フロアのレストランから富士山をはっきりと眺めることができ、ご利用者の皆様とともに、穏やかな新年を迎えることができました。そのなかで、16時10分に石川県能登地方に震度7の非常に大きな地震が発生し、多くの方々が被災されました。お正月で大勢の親族が集まる団らんの時間に発生した地震は、多くの命を奪い、生活を一変させました。自然災害はいつ、どこで発生するかわかりませんので、災害に対する備えを見直すとともに、災害に遭われた皆様の健康が守られ、穏やかな生活に一日でも早く戻りますようお願いいたします。

シャローム横浜においては、昨年11月20日より新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされました。今回は2階フロアにある認知症デイサービスから始まり、2階事務所・3階・4階の特養フロアにも次々に陽性者が確認され、ご利用者59名・職員18名と多くの方が感染されました。当施設としては、初めて複数部署での同時

感染に見舞われ、特に在宅サービスではご家族にも感染が広がるなど、皆様の生活に多大な影響を及ぼしてしまいましたことに深くお詫び申し上げます。

4年ほど前から発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、このシャローム横浜では、今まで築き上げてきたご家族や地域との交流が充分にできない状況が続いています。そこで、今回の経験を教訓に感染対策を見直し、皆様の健康をお守りするとともに、シャローム横浜のご利用者ご家族、地域の皆様との交流を深めて、お互いに支え合う関係性を再構築し、多くの皆様にご利用いただけるよう努めてまいります。

「わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい。」
ヨハネによる福音書15章12節

今後も皆様のご指導・ご鞭撻を
お願い申し上げますとともに、皆様が平和のうちに過ごされますようお祈り申し上げます。

施設長 高原信夫

ひまわりのクリスマスイベント

去る、12月19日(火)~12月25日(月)までの5日間、デイサービスの「ひまわり」では、クリスマス週間と題しまして、職員からご利用者の皆様へ出し物を披露させていただきました。

マジックショーやトーンチャイム演奏、ピアノ演奏、ギター伴奏による歌、そして日替わりサンタからのプレゼントなど、盛りだくさんの内容で喜んでいただきました。中には演奏を聴いて目に涙を浮かべられる方もいらっしゃり、生演奏の素晴らしさを改めて感じました。



ひまわり 池原 雅彦



第282号
令和6年1月15日発行
(毎月1回 15日発行)

責任者:施設長 高原信夫
〒241-0802
横浜市旭区上川井町 1988
社会福祉法人アドベンチスト福祉会
シャローム横浜

編集委員
小林・荒金・石橋
☎045-922-7333

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



あったかいが
いいね

シャローム横浜のクコの実



寒さが身に染みる季節となりました。シャローム横浜周辺の草木も姿を変えています。その中で杏仁豆腐などに使用されている赤い実のクコについて紹介したいと思います。

クコの実は、胃の健康を保つ、疲労回復、血流の改善、感染症の予防・改善などの効用があります。また、冬でも青々としているクコの葉は動脈硬化や高血圧の予防に役立つとされており、民間的にお茶として流通しています。

寒いこの季節、このような植物を上手く利用して免疫力を高めておくのもよいでしょう。

医務室でも日々、感染対策を行いながらご利用者と穏やかな時間を過ごしていければと思っております。

医務室課長 中村 牧子



お節料理のご紹介



1月1日は晴天に恵まれ、素晴らしい元旦を迎えることができました。

お節料理の献立は、お雑煮、黒豆、栗きんとん、寿かまぼこ、昆布巻き、数の子、紅白なます、鶏

の三色巻き、ぶりの西京焼き、お煮しめという豪華なものでした。

今年も栄養課で楽しい行事食を考えていますので、よろしくお願いいたします。

栄養課課長 小寺 秀偉



たとい人が全世界をもうけても

第190回 チャプレン 上前 至

今年の元旦をあなたはどのようにして迎えられたでしょうか？「一年の計は元旦にあり」といわれるようにあなたも何かしらの想い、希望をもって新しい一年を迎えられたのではないのでしょうか。私もそうでした。そして新たな希望をもって特別養護老人ホームの皆様、ケアハウスの皆様と新年の挨拶の時を持たせていただきました。そういう意味でも元旦というのは特別な一日とも言えるでしょう。

ところが今年は、その挨拶をさせていただいたその帰り道、とてもショッキングなニュースを車中のラジオから聞いたのです。それは「本日夕、能登半島で震度7の地震が発生、津波の危険あり。急いで避難してください」という緊急の呼びかけでした。よりによってなんでこんな元旦の日にそんな事が起こるのかと第一に思いました。そして翌日、それに輪をかけたかのように羽田空港滑走路上で2機の飛行機の衝突事故のニュース。その衝突時の画

像を見せられ2度にわたる炎上の様子から、はじめ大惨事を予想しましたが、日航機乗客は全員無事脱出、死亡無しとの報に接し不幸中の幸いであったと思える次第でもありました。

今年の干支(えと)は辰(たつ)です。「辰の新年は雲を呼び、雨を起す」との言い伝えがありますが、まさにそのような言い伝えが当てはまるような新年からの出来事です。と同時に私は今年、新年の最初に与えられた聖句を紹介したいと思います。「たとい、人が全世界をもうけても自分の命を損したら何の得になるうか」(マルコによる福音書8章36節)

何が起こるかかわからない日々、おのおの与えられた命を大切にしてこの一年を過ごしたいものですね。

